

新会長あいさつ

県立青少年センター 館長 薄井英男



会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、4月1日付の人事異動で青少年センターの館長（県民局青少年部長と兼務）に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

協議会の会員の皆様には、県立青少年センターの事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の東日本大震災の教訓や反省を踏まえ、科学技術政策の検証を行うとともに、エネルギーやライフスタイルを見直す必要性を認識させられております。

また、子どもたちの「理科離れ」が指摘される中で、将来の科学技術を担う人材を育成するため、科学技術への関心を喚起していく取り組みがますます重要となっております。

こうした中、「中高生サイエンスキャリアプログラム」「子ども科学探検隊」「青少年科学作文コンクール」「子どもサイエンスフェスティバル」等、私たち協議会が主催、共催している事業は、子どもたちや青少年に対して、知的好奇心の喚起やものづくりなどの喜びが実感できる取り組みとしておおいに意義があると言えます。いずれの事業も、会員の皆様に熱心に取り組んでいただき、子どもたちや保護者の方々をはじめ多くの皆様から好評をいただいております。

協議会のこうした取り組みを通して、子どもたちや青少年が夢やあこがれを抱いて果敢に挑戦する人間に育ってくれることを願い、今後も事業を充実してまいりたいと考えておりますので、引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年度の青少年センターのメンバーです。よろしくお願いいたします。

会 長	薄井 英男	館長（県中央地域県政総合センターより）
事務局 長	有森 斉	科学部長
事務局次長	上原 志郎 <small>ゆきお</small>	科学支援課長（県立鶴嶺高校より）
事務局担当	平田 太一	主任技師
	山田 幸一	副技幹
	住谷 秀俊	主任技師

平成24年4月1日付け異動

前事務局次長 佐藤 和彦（県立伊勢原高校へ）

子ども科学探検隊

今年度の「子ども科学探検隊」スタートしました！

5月27日（日）10時より青少年センターで開講式を行いました。

子ども科学探検隊は、小学4年生～6年生の子どもたちが、県内の科学館・研究施設・大学・動物園などで科学の不思議・ものづくりの感動を体験します。

A、B、Cの各コースとも6つの施設及び特別コース（希望者）の探検に行きます。（下表）

開講式後は、コースごとに集まって隊員同士の自己紹介、事前のオリエンテーションが行われました。



開講式で館長のあいさつを聞く隊員達

A コ ー ス 21 名		<p>三菱みなとみらい技術館 神奈川工科大学 相模原市立博物館 水産総合研究センター中央水産研究所 日本大学生物資源科学部 ズーラシア・横浜市繁殖センター</p>	特 別 コ ー ス 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 J A X A
B コ ー ス 20 名		<p>野毛山動物園 はまぎんこども宇宙科学館 海洋研究開発機構横浜研究所 東芝科学館 青山学院大学理工学部 神奈川県立生命の星・地球博物館</p>	
C コ ー ス 20 名		<p>日本郵船氷川丸 神奈川県環境科学センター 藤沢市湘南台文化センターこども館 神奈川大学 産業能率大学 横浜市立金沢動物園</p>	

休憩をはさんで「おもしろ実験」を体験しました。昼食後、午後から元気に探検に出発しました！



おもしろ実験 「空気砲」に大興奮！



おもしろ実験 「粉塵爆発」大迫力です

子ども科学探検隊Aコース 三菱みなとみらい技術館

錯覚であそぶ「ベンハムのコマ」を工作した後、館内を探検しました。



白と黒の模様だけのコマでもいろんな色が見られます



架空の地球上で自分の分身のキャラクターを作成して環境問題を学習します



太陽光発電の仕組みを体験！体験に連動したアイテムが手に入ります

子ども科学探検隊Bコース 野毛山動物園

実際に卵に触れながら、卵の不思議を学習しました。また、ヒヨコが卵の中でどのように大きくなるのかをのぞいてみました。



卵の中身を空にしてイースターエッグを作りました



ダチョウの卵は大人が乗っても割れませんが、内からは割れやすくなっています



子ども科学探検隊Cコース 日本郵船氷川丸

デッキやトンネルなど普段は見学できない船内を探検し、船乗り独自のロープの結び方を学びました。



スクリーの軸があったシャフトトンネル



フォルクスデッキにある錨を上げる機械



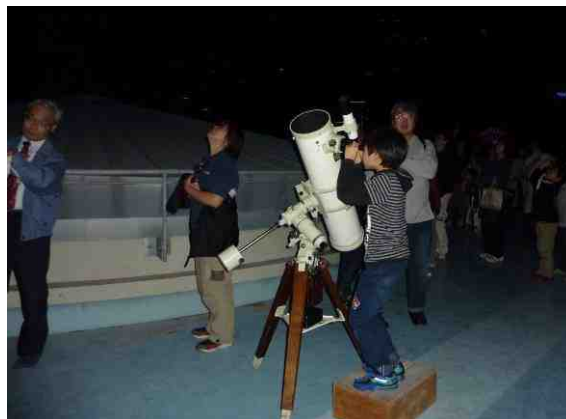
船長さんにロープワークを教えてもらいました

青少年センターのイベント 星空教室

青少年センターでは、天文学普及のため毎月1回屋上で星空観察会を実施しています。今年度の第1回目は、4月28日(土)に月、金星、火星、土星の観察を行いました。



専門スタッフによる事前学習



高性能の天体望遠鏡を使っでの観察



また、今年は「金」の文字のつく珍しい天文現象が続きます。

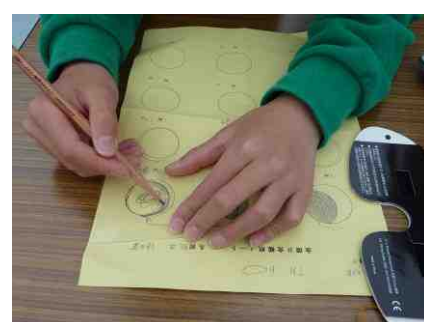
まず、5月21日(月)「金環日食」観察会。

6時30分から屋上で実施するはずでしたが、6時頃には土砂降りの雨。6時30分を過ぎても、まだ、止まない様子。7時過ぎには雨は上がりましたが、上空は分厚い雲に覆われています。来場者の方々も、日食グラスやこの日のために準備したカメラを手に祈るように空を見上げていました。そして、皆さんの思いが通じたのか、7時30分頃、奇跡的に雲が薄くなり切れ目から歓声・拍手とともにリング状の太陽が登場しました。

金環日食観察会



雲の切れ間から太陽が！



観察結果を記録します

協議会員の動向

<後援するイベント>

東芝科学館は、8月10、11日の2日間「東芝科学館第2回サイエンスフェスタ」を実施します。協議会の活動趣旨に沿うものと判断し、後援いたします。

事務局より

第44号は、5月からスタートした「子ども科学探検隊」をお知らせしました。次号以降で引き続きご報告します。

青少年センター科学部のイベントとして、「星空教室」をご紹介しました。今年は、「天文のゴールデンイヤー」と呼ばれているようです。次の「金」の文字がつく天文現象は、6月6日（水）に金星が太陽の前面を通過する「金星の太陽面（日面）通過」という現象が起きます。日食メガネで見ると太陽の前を真っ黒な小さい点が通っていきます。午前7時頃から約6時間かけて観察できます。次に見られるのは105年後です。この機会を見逃しなく。

協議会ニュースを協議会員同士の情報交換の場としてよりご活用いただきたいと考えております。会員の皆様からの情報等をお寄せください。協議会ニュースを通して発信していきたいと思っております。どうぞご活用ください。

また、ご意見・ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。

青少年センターは今年で開館50周年を迎えます。

今後ともよろしく願いいたします。



問い合わせ先

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局
(県立青少年センター科学部) 平田、上原

TEL 045 - 263 - 4470

FAX 045 - 241 - 7088